

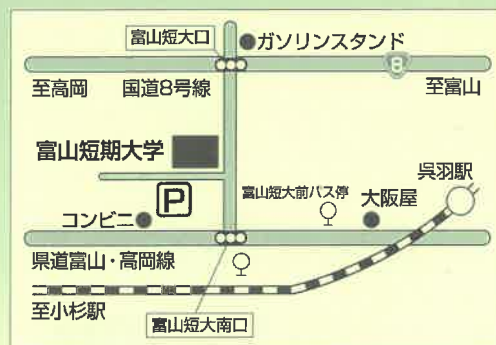
公開特別講演会

参加
無料

日時 平成30年 9/29 土 13:10~16:30

会場 富山短期大学 F館 2階

対象 一般の方、本学学生、保護者 約210名



演題 1

食べて治す食物アレルギー

— 栄養士さんに知ってほしい新しい考え方 —

講師／伊藤 靖典先生

富山医科薬科大学卒業、小児科医師、日本アレルギー学会認定専門医・指導医

食物アレルギーは乳幼児では5~10%に見られ、卵や牛乳、小麦などが主な原因食品です。一般的にはこれらの食品を摂取しない（除去）ことで、アレルギー症状を予防します。乳幼児の食物アレルギーは成長に伴い、自然に治る（自然耐性化）ことが多いのですが、近年、多くの研究結果から、少しずつ食べたほうが治りやすいことがわかってきました。食べさせる指導には適切な診断と食品のアレルゲンの知識が不可欠であり、栄養士の役割が非常に重要になってきています。最近の食物アレルギーの研究結果、食事指導における栄養指導の重要性などについてお話したいと思います。

演題 2

食物アレルギー 食育の視点から

講師／本多 京子先生

医学博士・管理栄養士、著書は60冊を超える

「食育」という言葉の生みの親『水野南北』は「身土不二」という考え方を打ち出したことでも知られています。これは、人も自然環境と不可欠に生きているのだから、その土地でその季節にとれたものを主として食べることが大切だという教えです。しかし、現在では、家計の食糧消費支出に占める加工食品の割合が60%を超え、作らずに食べている人が増えています。そうした食の変化がもたらす体や心への影響と健康のかかわりについて一緒に考えてみたいと思います。社会が変わると食が変わり、食が変わるとかかる病気も変わります。

富山短期大学 食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻 行

FAX 076-436-0133

申込日 月 日

富山短期大学 食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻

公開特別講演会

申込書

貴社名・団体名等	
ふりがな ご氏名	
ご住所	〒
ご連絡先	電話番号 () - FAX番号 () -